

2022年度全学統一入学試験問題

国 語

(2月3日)

開始時刻 午前10時30分

終了時刻 午前11時40分

※ 数学の問題は、本冊子の左開きのページにあります。

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子は21ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明及び解答用紙の汚れなどがあった場合には申し出てください。
3. 国語か数学のどちらか1科目を選択し、該当する解答用紙を切り離して解答してください。2科目とも解答した場合は、すべて無効となります。

国 語 1～17ページ

4. 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督員の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

① 受験番号欄

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名とフリガナを記入してください。

5. 解答は解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

と表示のある問いに対して◎と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の◎にマークしてください。

(例)

10	○ a	○ b	◎ c	○ d	○ e
----	-----	-----	-----	-----	-----

6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもかまいません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

一 次の記事は、自著についての著者自身による紹介文である。これを読んで、問一〜八に答えなさい。

いま、海外に向けて日本の文化的な魅力を発信する動きが活発だ。それは伝統の食やわざ、美など多方面にわたる。それが功をソウしてであろう、訪日外国人観光客数も急増している。これから人口減少が避けられない以上、このままでは、日本経済にかつてのような成長を望める状況にはないと言われる。観光や地域シンコウへの注力は、そうした現実を見据えた立国戦略というわけである。

V

とはいえ、それらだけで日本列島文化を語るわけにはいかない。縄文文化のハンエイは東高西低、火焰型土器などのような躍動感ある土器や加曽利

(注1)

(注2)

貝塚のような大規模環状集落は、西日本にはみられない。弥生時代でも稲作を受容しなかった地域があったし、本州で古墳文化が栄えたころ、その外側にあった北海道や沖縄には土地の風土に応じた独自の狩猟採集文化が育まれていた。古代の律令国家が支配した範囲も本州全域にさえ及ばない。

W

X

』に収められた東歌から、古代にはさまざまな方言があったことが知られているように、全国一律の支配をめざした

Y

国家の内部にも土地の風土に応じた地域文化が存続していた。この国の代表とされる文化も、列島中央部の地域文化にすぎず、その内部にさえさまざまな地域性があったのである。①

「日本文化」は、じつは多彩な地域文化の集合体なのだ。生活や社会と言う側面に焦点を当てれば、日本列島の各地には、長い歴史を通じて形作られてきた多様な生活文化が生まれ、地域ごとに社会的な自己意識がたしかに息づいている。身近なところで「雑煮」を思い浮かべてもらうとよい。地域によって出汁や味付け、具材や餅の形さえさまざまではないか。近代以降の民俗学が明らかにしたように、地域ごとにさまざまな生業・習俗・信仰・芸能が「日本文化」の多様性を如実に表しているのである。②

Z

、太平洋戦争後の高度経済成長を経て、日本の衣食住は大幅な西洋化を遂げた。その上、情報化社会の到来により、地域の個性は似通った価値観によって均質化されつつある。経済的に安定した人びとの多くは、典型的で没個性的な現代的生活を希求し、利便性の高い都市部へと人口が流出している。農山漁村など小規模な地域社会は活力を失って弱体化し、地域文化の担い手が減少するなか、地域の記憶は少しずつ失われようとしている。日本の豊かな地域文化は、海外に向けてその発信をしようとしているまさにいま、消滅の危機にさらされているのだ。③

それは、教科書的な歴史観に加え地域の魅力を評価すること、^A「日本文化」なるものを深層からみつめ直し、地域への誇りを蘇らせ、^{よみがえ}真の日本の文化的魅力を発信することに、やがてつながっていくと考えるからである。④

^(注3)本書は、考古学・歴史学の成果に基づいて、地域間の文化的、社会的、^B政治的境界の成立過程に着目し、各地域文化がいかに古い歴史をもつか、旧

石器時代までさかのぼって解き明かすことを試みた。いま最前線の研究は、日本列島に私たちの直接的祖先（ホモ・サピエンス）が約四万年前にはじめて到来して以降、各地の気候や風土に細やかに適応することで生活文化の地域性が成立したことを明らかにしている。やがて広域を統治する政治権力が成立してからは、地域性の境は政治的な意味を帯びた境界となり、その多くが現代まで受け継がれていく。【⑤】

この歴史を知ることが、日本列島の文化がいかに多様であり、またそのような多様な文化が成立したのはなぜかについて理解を深めてくれる。自分たちには関係ないと思えるような太古の人びとの生活や地域性が、時代が下つてもなお、さまざまの意味を帯びながら受け継がれていることは、素直な驚きをもって受けとめられるだろう。日本列島の生活文化・社会・政治の成り立ちが、先史時代以来の歴史から切り離しては理解することができないことを知ったとき、現代の諸問題に向き合う姿勢はどのように変わるだろうか。

（森先一貴「『日本文化』の深層に挑む」による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

（注）

- 1 火焰型土器——縄文時代中期に作られた土器で、とって把手の装飾が燃え盛る炎（焰）のように見えることから、この名がつけられた。
- 2 加曾利貝塚——千葉県千葉市若葉区にある縄文時代の貝塚であり、今から約五千年前から四千年前に作られたといわれる日本最大級の貝塚。
- 3 本書——森先一貴・近江俊秀『境界の日本史 地域性の違いはどう生まれたか』（朝日新聞出版、二〇一九年四月）のこと。
- 4 先史時代——文献的資料の存在しない時代。日本では旧石器時代から弥生時代をさすとされる。

問一 傍線部ア～ウの漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

1、イが 2、ウが 3。

ア ソウして

- ① 鳥にはキノウ本能がある
- ② ユウソウな陣太鼓を聞く
- ③ ピアノでバンソウする
- ④ シュショウとは総理大臣の通称
- ⑤ 豪華な花嫁イシヨウ

イ シンコウ

- ① 会社の業績をノばす
- ② 敵国の領空をオカす
- ③ 議事をススめる
- ④ 野球のバットをフる
- ⑤ 病院でミてもらう

ウ ハンエイ

- ① 雑草がハンモする庭
- ② 河川がハンランする
- ③ 敵とハンモクする
- ④ ヤバンな行為を許さない
- ⑤ 陸上競技のエンバン投げ

問二 次の文は、本文の【①】～【⑤】のどこに入るか。次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

いまこそ、多様な地域の歴史を深層から見直し、この国の文化の多元性と多様性をみつめ直す作業が必要である。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

4。

問三 空欄 V には、次の①～⑤の各文が入る。正しい順に並べるとすれば、どれが最も適切か。次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号

をマークしなさい。解答番号は、5。

- ① たとえば、巨大な古墳や、壮麗な寺院、立派な石垣を持つ近世城郭などは、そうした歴史を体現した文化財である。
- ② ところで、ここで発信している日本の文化とは何か。
- ③ おそらく、多くの方がイメージするのは、教科書で習うような狩りや採集に明け暮れた先史時代の人びとが、大陸からもたらされた水田稲作によって豊かさを手に入れ、やがて力を蓄えた富裕者が大きな権力を握り、この国の統治をすすめていく歴史の産物である。
- ④ こうした文化財は、ある意味、この国の歴史の「代表」である。
- ⑤ それらはまた観光資源としても、「日本文化」発信に活用されている。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | ④ | ↓ | ② | ↓ | ① | ↓ | ③ | ↓ | ⑤ |
| b | ④ | ↓ | ③ | ↓ | ① | ↓ | ② | ↓ | ⑤ |
| c | ③ | ↓ | ④ | ↓ | ② | ↓ | ⑤ | ↓ | ① |
| d | ② | ↓ | ① | ↓ | ⑤ | ↓ | ③ | ↓ | ④ |
| e | ② | ↓ | ③ | ↓ | ① | ↓ | ⑤ | ↓ | ④ |

問四 空欄 W、Y、Z に入る語の組み合わせとして、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマーク

しなさい。解答番号は、6。

- a Wが「しかし」、Yが「このように」、Zが「その上」
- b Wが「しかし」、Yが「もちろん」、Zが「ところが」
- c Wが「しかも」、Yが「このように」、Zが「その上」
- d Wが「しかも」、Yが「このように」、Zが「ところが」
- e Wが「もちろん」、Yが「しかし」、Zが「ところが」

問五 空欄 X に入る作品名として、最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

7。

- (a) 古事記
- (b) 日本書紀
- (c) 出雲国風土記
- (d) 万葉集
- (e) 日本霊異記

問六 傍線部A「『日本文化』なるもの」は、なぜ「なるもの」と表現されているのか。その理由として最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一

つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

8。

- (a) 日本には古来、各地にさまざまな文化が存在しており「日本文化」などというものは、そもそも存在していないから。
- (b) 私たちが現在「日本文化」と考えるものは、あくまでも教科書的な歴史観に基づく、この国の文化の代表とされるものであるから。
- (c) 私たちが「日本文化」と呼んでいるものは、異なる国の文化が混じりあったものであり、ひとくくりに表現できないから。
- (d) 現在の「日本文化」は、太平洋戦争後の高度成長を経て失われてしまっており、本来の「日本文化」とは「似て非なるもの」と言わざるを得ないから。
- (e) もともと「日本文化」とは、全国一律の国家体制の中にある土地の風土に応じたものであり、現在の日本社会制度には馴染まないものであるから。

問七 傍線部B「政治的境界」に該当するものとして、最も適切なものはどれか。次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。

解答番号は、9。

- ① 江戸時代の「武蔵国」や「相模国」など、藩と藩の境界線
- ② 地形の起伏を表すため地図に描かれる等高線
- ③ 土地の所有を明確にするための隣地との境界線
- ④ 山や川によって隔てられた村落の境界領域
- ⑤ 先住民族などの縄張りを示す境界標識

問八 本文で述べられていた内容に関連するものとして、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、10。

- ① 私たちは、「日本文化」を考える際に、中央集権が主導する社会経済の発展史に基づいた歴史観から脱却しなければならない。
- ② 「日本文化」のルーツは旧石器時代にさかのぼって考察する必要がある、「縄文文化」の重要性に注目すべきである。
- ③ これまでの日本史は、文明の発達段階に基づく「進歩史観」と呼べるものであり、日本各地の地域的特性を考慮したものではない。
- ④ 教科書的な歴史観は、あくまでも歴史の一面を切り取ったものに過ぎず、今後は、考古学や歴史学の成果に基づいて再検討しなくてはならない。
- ⑤ 日本の歴史は、列島各地の生活文化の多様性や多元性の起源を追究することから、みつめ直す必要がある。

次の文章を読んで、問一～八に答えなさい。

いつの間にか私たちは、さまざまな不安と隣り合わせに生きていくことが、日常になってしまった。少し思い返してみただけでも、毎年のように繰り返される風水害、恐ろしい地震や噴火、近隣諸国とのフキヨウワ、さまざまな偽装事件、著しい高齢化の進行、天文学的な財政赤字と将来の年金への不安、奇妙な犯罪や事故の多発、そして感染症の拡大など、枕を高くして眠ることができないような日々が続いている。

もつとも、この原稿を書いている今は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のマンエンにより政府が緊急事態宣言を発令した直後であり、不安というよりも、もつと強くてはつきりとした恐怖のようなものを感じている方も少なくないかもしれない。また実際にこの病と闘っている方や、多くの医療関係者は、さらに厳しい現実と向き合っていることだろう。

それでも、この日本列島で暮らす大多数の人たちにとっては、少なくとも現状においては、やはり、この病気そのものと、それに伴う社会経済的なダメージに対する「不安」こそが、最も支配的な感情ではないだろうか。その意味で、目下のコロナ禍は、近年の私たちのグレーな日々^Aの輪郭を、風刺漫画のように強調したものだと言えるかもしれない。

それにしても、なぜ私たちは、これほどまでに不安な状態が定常化してしまったのだろうか。たとえば「昭和生まれ」の人たちならば、昔は少し違ったよ、などと、漠然と感じている方も多いいかもしれない。ではいったい、何が変わったのだろうか。「世の中がぜんぶ、すっかり変わってしまった」というのが、心情的には最もしっくりくる言葉かもしれないが、説明にはなっていない。

そこで一つ、別の問いを立ててみたい。

X

具体的などころから考えてみよう。たとえば、目下、猛威をふるっている「新型コロナウイルス」、あなたはどのようにして、この病気の流行を認識したのだろうか。

この四月の段階であれば、東京や大阪など、比較的感染者数が多い都市に住んでいる方ならば、職場の誰かが罹ったとか、知り合いの家族が入院したといった、比較的「生」に近い話を聞いている人もいるかもしれない。しかし、感染拡大の初期段階や、人口当たりの感染者数がまださほど多くない地域では、そういうことも少ないだろう。

従って、ほとんどの人にとっては、最初にこの感染症の広がりを知ったのは、直接的な情報ではなく、なんらかのメディアを通じてであろう。まず、新しい病気が確認されたということが報じられ、急速な感染者の拡大と混乱が、テレビやスマホの画面に映し出される。これらにより、さまざまな反応が起こり、たとえば消費者の行動が変わることで、関係する業種では急激に売り上げが減り、目の前にリアルな問題がやってくる。こうして、

具体的な日常へのダメージが、まだら模様に広がっていく。

しかし重要なのは、その段階ではまだ、ほとんどの人のところにウイルス「そのもの」は来ていない、ということだ。このような「情報的な影響」は、現実に感染症が国内で広がるよりも、ずっと早く起きてくる。たとえば二〇〇三年のいわゆる「SARS（重症急性呼吸器症候群）」発生の際には、日本国内での感染拡大は起きなかった。それでも、さまざまな社会経済的な影響を惹起^{じやっき}し、大きな不安が広がった。

もう一つ、今回の感染拡大によって痛感させられたこととして、世界に広がった「モノ」の相互依存に起因する、システムの脆弱^{ぜいじやく}さがある。世界は^(注)サプライチェーンを通じて緊密につながっており、それゆえに、世界のどこかでひとたび何か問題が生じると、ただちにそれが全世界に波及するのだ。

たとえば、初期の段階ですでに、中国での生産が停滞したことにより、さまざまな日本の産業にブレーキがかかった。住宅用建材が届くのが遅れたために、自宅が完成しないとか、電子部品などの不足で装置が作れない、といったことが起きた。より注目されたのが、一気に品薄になったマスクだろう。私たちは、非常に不安定なシステムの上に生きていることを、思い知らされたのである。

以上、今回の感染症の拡大を例に考えてみたが、いくつかのことに、改めて気づかされる。それはすなわち、私たちは今、目の前に見えている日常的な世界のみを生きているのではなく、メディアやネットワークを通じて認識できる、遠い世界で起きていることに関する情報や、海の向こうで生産されている、実にさまざまなモノに深く依存して生きているということである。

そしてもう一つ、^D急いで付け加えるべきは、ヒトの動きである。世界的に張り巡らされた航空網により、人々のグローバルな移動がかつてないほどに拡大したからこそ、この忌まわしいウイルスはあつという間に世界中に広がったのである。

これらのことが指し示すのは、いわば、私たちが Y 生きていない、生きることが許されない時代という、特異な状況のことかもしれない。たとえば、東京にいながらにして、地球の裏側のコト・ヒト・モノと、直接、関わりを持つことが当たり前になった。それらは、時にはファンキーな動画や、愉快な友人、^Ecoolなシューズかもしれない。だが同時に、電子取引によって加速された突然の恐慌や、テロリスト、そして凶悪なウイルスが、同じように、不意に私たちの目の前に現れるリスクも存在するのだ。

現代を生きる者は、程度の差はあれ、いつの間にか、このような「奇妙なスタイル」で生活するようになったのである。そして、このスタイルの容こそが、最初の問い、つまり、私たちが不安とともに日々を生きるようになってしまったことの、根本的な原因ではないだろうか。

（神里達博『リスクの正体』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

（注） サプライチェーン——製品やサービスの、原料の調達から消費者に至るまでの過程のつながりのこと。

問一 傍線部ア、イの漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、アが

11、イが 12。

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------|
| ア | フキヨウワ | イ | マンエン |
| ① | 舞台のオンキヨウを確かめる | ① | 図書をエンタイする |
| ② | アイドルにネツキヨウする | ② | 試合の前にエンジンを組む |
| ③ | フキヨウのあおりを受ける | ③ | 日本海のエンガンを航行する |
| ④ | 事件のキヨウハン者を追う | ④ | エンギを担ぐ |
| ⑤ | 労使がキヨウテイを結ぶ | ⑤ | 浅間山がフンエンを上げる |

問二 傍線部A「グレーな日々」とあるが、「グレーな」の本文における意味とは何か。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

13。

- ① 薄暗いこと
- ② 不明瞭であること
- ③ 中間的であること
- ④ 憂鬱であること
- ⑤ 問題が山積していること

問三 傍線部B「なぜ私たちは、これほどまでに不安な状態が定常化してしまったのだろうか」の答えとは何か。筆者の考えとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

14。

- ① 航空網が発達し、世界的にそれが張り巡らされたから。
- ② 電子取引によって、経済やモノの動きが加速したから。
- ③ 直接的な情報ではなく、メディアを通じて情報を受け取るようになったから。
- ④ 今、目の前で見えている世界だけを生きているのではなくなったから。
- ⑤ 世の中が、前の時代に比べてぜんぶ、すっかり変わってしまったから。

問四 空欄 X に入る文として、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

15。

- ① 私たちはいつ、このような不安な状態を知るのだろうか。
- ② 私たちの日常に、深く入り込んだ不安とは、いったい何なのだろうか。
- ③ 私たちはどうして、この世界が不安なものになったことを、知っているのだろうか。
- ④ 世の中がぜんぶ、すっかり変わってしまったというのは、どういうことだろうか。
- ⑤ さまざまな不安と隣り合わせに生きているというのは、本当だろうか。

問五 傍線部C「まだら模様」に広がっていく」とはどういうことか。それを説明したものとして、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選

び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

16。

- ① さまざまなところで、濃淡入り交じってさまざまな形で広がるということ
- ② 一つ一つが重なり合うようにしながら、重層的に広がるということ
- ③ さまざまな方面から一つずつ順番に、直線的に広がるということ
- ④ 弱いものから強いものへと徐々に浮き出るように広がるということ
- ⑤ ある地点を中心に、同心円を描くように周囲に広がるということ

問六 傍線部D「急いで付け加えるべき」とあるが、この表現からわかる筆者の考えとして、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解

答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

17。

- ① 論の流れの関係上後回しになったが、前に述べたこと以上に重要であるということ
- ② 前に述べたことほど重要ではないが、付け加えるとすれば、ということ
- ③ 急いで付け加えないと忘れてしまいうるほど自明なことだが、ということ
- ④ この点は、火急な問題として存在しているのだということ
- ⑤ 前に述べたこととは別の点であるが、同じように重要な点であるということ

問七 空欄 Y に入る語句として、最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

18。

- ① 「過去と未来」を
- ② 「過去の上に現在を積み重ね」て
- ③ 「現場」を
- ④ 「今、ここ」のみを
- ⑤ 「安定、安心」のみで

問八 傍線部E「『奇妙なスタイル』」とあるが、なぜ筆者は奇妙だと言うのか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

19。

- ① 人間は高度に知能を発達させた動物である以上、すべてのモノ、情報を把握しようとするが現実にはできていないから。
- ② 人間が依って生きていかざるを得ない現在のシステムは、不安定でバランスが悪く、いびつであるから。
- ③ 感染症は、感染した人が自分の周囲に出たときに恐れるべきものなのに、ただニュースを見ただけで現代の人は不安がるから。
- ④ 「昭和生まれ」の筆者からすると、昔とは全く異なる世の中に見えるうえに、変わったのに良くなったわけではないから。
- ⑤ 人間は生身の生き物である以上、本来は直接的に経験したり体験したりして生きていくのが当然なのにそうではないから。

メ モ

試験問題は次に続く。

次の文章を読んで、問一〜七に答えなさい。

二〇〇四年に東京の美術館で「クサマトリックス」という個展を開きました。この展覧会では、青春を前にした少女たちが周りの世界に対して感じる新鮮な驚きと、彼女たちが未来への若々しい夢を謳歌する様子を作ってみようと思いました。

これらの作品群は、少女期に遂げられなかった、私自身の幸福への願望を描いてみたものです。暗い戦争の時代、社会不安とリフジンアな社会制度のはざまでもがき苦しんだ日々を振り返ってみるとき、今でも私の心のなかには、実現することのなかった青春のはばたきへの思いが生々しく蘇よみがえってきます。

「クサマトリックス」展では、思春期を前にした、清純な少女像五人と三匹の犬注でなりたつインスタレーションを展示しました。私はかつてかなえることのできなかつた幸福を、この年になって願望し、作品というかたちでいつそう明らかに目覚めさせたのです。ようやく完成したインスタレーションを見つめると、涙がとめどなく流れ始めました。

なぜなら、この五人の少女たちが私に「ハイイ、コンニチワ」と問いかけてきたからです。それは、私の幻の青春に投げかけられた、愛の問いかけだったのです。【①】

狭く息苦しい日本から茫洋ぼうようとした空間を持つ大海を越えて、たどり着いたアメリカ大陸の北西部。そこは、あまりにも大自然が美しく、とても制作などできないと思うほどでした。私にとってアメリカ行きは、小さな頃からの夢の実現でもありました。【②】

子供時代の私は、地球儀や地図を見ると不思議な気持ちになって、まだ見たことのない大海や大陸のことをあれこれ考えたりすることがありました。故郷である長野県の松本は、両側が高い山々に囲まれ、太陽は早く山の彼方かなたに姿を隠してしまいます。山の向こうには、何か私の知らないものがあるのだろうか。あるとすれば、何があるのだろうか。未知の場所への好奇心は、その黒々とした山の向こうを見たいという気持ちへと発展していきました。もしできることならリュックサックにおむすびをつめて、ひとりでこつこつと地球の裏側に出かけていきたいと、どんなに思ったかしれません。サーカスの小屋が町にかかる、踊り子イにアコガれて、そのあとについて行こうと思ったこともありません。【③】

しかし、さいわいにもそんなことができなかったのも、私は海にはまっておぼれてしまうこともなく、長い年月の間に一人の画家になっていったのです。【④】

私の少女時代は、戦時中だったせいもあって、いろいろな夢があっても、その何分の一もかなわず、暗くとざされた毎日でした。ことに私は人一倍さまざまな将来への希望や抱負をもっていて、自分でもあますほどでした。【⑤】

そんなとき、いつも、はげしく私の心をとらえたのは、青々とはてしなく広がっている太平洋や大西洋、熱砂の広大な砂漠、見たこともない異国の山脈に咲く不思議な植物、無限の神秘をかきたてる宇宙の星々のことでした。そして、その空の下のさまざまな国に住む同じ心をもつ人々に対しての不思議な予感を抱いていました。

その予感があったので、成長して絵を描くようになってからも、自分の作品を通して、多くの人々、ことに海外の人々と、心の交流がかならずや可能であると信じてことができました。自分の作品を見てもらう機会が生まれ、共鳴や興味をもたれる日が、いつかはくるにちがいないと心に決めきっていたのです。

どうしても外国に行ってみたいという X 思いから、フランスの大統領に手紙を送ったこともあります。「閣下、私は貴国のフランスがどんな国が見たいと考えているので、よろしく頼みます」という拙い内容の手紙でした。するとわずか五行ですが、親切な返事が来ました。

「私の国に興味をもってくれてありがとう。日仏文化交流の機関がいろいろあるので手配しておきました。まず、フランス語をよく勉強して試験を受けなさい。あなたの成功を祈っています」

フランス大使館からも親切なアドバイスを貰いました。けれども頭が痛かったのは、フランス語の勉強でした。とても迷いましたが、その頃はアメリカにも行ってみたいと思いはじめました。そのときに思い出したのは、小さい頃に見た絵本でした。きつとアメリカには、その本に描かれたような、澄んだ青空と、いくら食べても食べきれないほどのトウモロコシ畑がある。太陽の光でキラキラ輝く草原やどこまでも広がる空間。それらを目で見て、自分自身がそこで暮らしてみたいと思いました。この国なら食べていくのに困っても、いざとなれば農業をしながら絵を描き続けられるかもしれない。そこで私は何としてもアメリカに行こうと決心したのです。

（草間彌生『水玉の履歴書』による。設問の関係上、本文を改めたところがある。）

（注） インスタレーション——諸作品とその環境を総体として展示する現代美術の用語

問一 傍線部ア、イの漢字と同じ漢字を含むものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号はアが

20、イが 21。

- | | | | | | |
|---|----------------|---|---------------|--|--|
| ア | リフジン | | | | |
| ① | たゆまずシヨウジンしてきた | | | | |
| ② | ジンジョウな手段で入手した品 | | | | |
| ③ | 計画にジンリヨクする | | | | |
| ④ | 擁護のロンジン張る | | | | |
| ⑤ | 医はジンジュツ | | | | |
| | | イ | アコガれて | | |
| | | ① | イロウ会を開く | | |
| | | ② | 古代文化へのシヨウケイの念 | | |
| | | ③ | ボウキョウの思いに駆られる | | |
| | | ④ | 少年の日のボジョウ | | |
| | | ⑤ | ジドウ向けの劇団 | | |

問二 本文を大きく二つに分けるとすれば、前半の最後は本文の【①】～【⑤】のどこか。次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、 22。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

問三 傍線部A「私自身の幸福への願望」とあるが、それはどのようなものか。最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号を

マークしなさい。解答番号は、 23。

- ① 青春時代にあつて思い通りに人生を歩めなかったことを、苦しく思い起こしている気持ち
- ② 戦争の時代にあつて、社会不安と社会制度に阻まれてしまった自分の思い
- ③ 思春期を暗い戦争に塗り込められてしまった、という残念な気持ち
- ④ 自身を取り囲む世界に感じる驚きや未来への夢
- ⑤ 少女時代に持ったフランスやアメリカに渡って美術の道をきわめたいという思い

問四 傍線部B「涙がとめどなく流れ始めました」とあるが、その理由を説明したものととして、最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、

解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、24。

- (a) 自分の作品が自分に対して語りかける笑い声が、はっきりと耳に届いたから。
- (b) 実現することのなかった私の青春に対して、愛情あふれる声が聞こえたから。
- (c) やっと完成できたことで、それまでの苦勞がすべて報われたように思えたから。
- (d) これからの限らない未来への夢を、思う存分述べ立てることができたから。
- (e) 失われた青春に対する、癒しのメッセージが込められた作品だったから。

問五 傍線部C「アメリカ」は、行く前の筆者にとってどのような存在だったと述べているか。最も適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、

解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、25。

- (a) 大自然が美しく、作品が作れないと思える国
- (b) 自分を抑圧することのない、自由に満ちあふれた場所
- (c) どんな不思議な芸術でも受け入れてくれる、広い心を持ったところ
- (d) 英語ならどうにかなると思える、自分が行ける外国
- (e) 自然が豊かで食べものもあり、絵を描きながら生活できる土地

問六 傍線部D「共鳴や興味をもたれる日が、いつかはくるにちがいない」という予感、筆者のどのような思いからきていたと述べているか。最も

適切なものを、次の(a)～(e)のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、26。

- (a) 周りには自分のことを理解してくれる人がいない、という悲しみからくる願い
- (b) 現在の人たちには分かってもらえないという絶望
- (c) 自身の芸術が普遍的な価値を持っているはずだという、深い信念と自信
- (d) 広い世界には、自分と同じ心を持った人が必ずいるに違いないという確信
- (e) フランスには自分の思いを分かってくれる人がいるかもしれないという予感

問七 空欄

X

に入る語として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選び、解答欄の記号をマークしなさい。解答番号は、

27

- ① 適当な
- ② 深刻な
- ③ 劇的な
- ④ 繊細な
- ⑤ 切実な